

# Tone King

## Gremlin

### 取扱説明書



正規輸入代理店

Quanta Intl.

## ビルダーからのコメント

トーンキングのギターアンプ "Gremlin"をお選びいただきありがとうございます。Gremlinはトーンキング・ラインの先代モデルとは少し異なる新しいデザインです。

Gremlinは、ツイード・チャンプ、Supros、オールド・フィールドコイル・ギブソン・アンプなど、大型ヴィンテージ・アンプのビッグで大胆なサウンドを、より小型で扱いやすいパッケージで実現するために開発されました。この設計のゴールは、小型アンプのルーズで生々しいサウンドを維持しつつ、荒々しさをなくすことでした。また、より大きなフォーマットのアンプが持つ力強い低域と力強い高域も実現したかったのです。これを実現するには、2つの重要な要素がありました。第一に、小さめのポート・キャビネット設計と特別に設計されたセレクション・スピーカーが相まって、キャビネット・サイズから想像されるよりも大きなサウンド・フットプリントを実現している事。

次に、KT66出力管をストックしたシングルエンド出力段を採用しました。カソードバイアスです。

※純正の音ではありませんが6L6も代用可能です。

5WのGremlinは、家庭環境で使用するにはまだ音量が大きすぎたため、6段階の減衰レベルを持つカスタムバージョンのIronman IIアンプネーターを追加し、音量を-35dbまで落とし、本格的なベッドルームの音量まで下げました。

最終的に、Gremlinは本物のオールドスクール・トーンの素晴らしいバラエティーを持ち、演奏するのが最高に楽しいことが判明しました。

Gremlinをお買い上げいただきありがとうございます。

## 安全について 取扱説明書

この取扱説明書は、今後の参考用として、またこのTone King アンプの所有期間中、大切に保管してください。新しいアンプをお使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解ください。この取扱説明書には、アンプの使用とメンテナンスに関する重要な安全情報が記載されています。この取扱説明書に記載されているすべての警告記号や標識、そしてアンプ本体に印刷されている警告記号や標識に特に注意してください。



火災や感電を防ぐため、アンプを水や湿気にさらさないでください。  
水源の近くで使用しないでください。



矢印の三角マークが付いた稲妻は、製品の筐体内に絶縁されていない「危険な電圧」が存在することを警告するためのもので、感電の危険を構成するのに十分な大きさである可能性があります。



感嘆符のような三角形のシンボルは、このアンプに付属のユーザーマニュアルに重要な操作とメンテナンス（整備）の指示があることを警告するためのものです

- 1 説明書を読む - 本製品を操作する前に、すべての安全および操作説明書をお読みください。
- 2 取扱説明書の保管 - 安全および取扱説明書は、将来参照できるように保管してください
- 3 警告にご注意ください - アンプや取扱説明書に記載されている警告は、すべて守ってください。
- 4 指示に従ってください - すべての操作および使用上の指示に従ってください
- 5 水と湿気 - アンプは、バスタブ、洗面器、キッチンシンク、洗濯槽、濡れた地下室、プールの近くなど、水の近くでは使用しないでください。

- 6 カートとスタンド - アンプは、メーカーが推奨するカートまたはスタンドと組み合わせてのみ使用してください。アンプとカートの組み合わせは、注意して移動してください。急停止、過度な力、凹凸のある場所などでは、アンプとカートの組み合わせが転倒する恐れがあります。
- 7 壁または天井取り付け - 製品は絶対に壁や天井に取り付けないでください。
- 8 熱 - アンプは、ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、熱を発する他のアンプ（アンプを含む）などの熱源から離れた場所に設置してください。
- 9 電源 - 本製品は、定格ラベルに記載されているタイプの電源からのみ操作してください。ご自宅への電源供給が不明な場合は、製品販売店または最寄りの電力会社にご相談ください。
- 10 接地または極性 - 本製品には、極性交流ラインプラグ（片方の刃がもう片方より太いプラグ）が使用されている場合があります。このプラグはコンセントに一方向にしか入りません。これは安全機能です。プラグをコンセントに完全に差し込めない場合は、プラグを逆にしてみてください。それでもプラグが入らない場合は、電気技術者に連絡して、古くなったコンセントを交換してください。極性プラグの安全目的を破らないでください。
- 11 電源コード保護 - 電源コードは、プラグや便利なレセプタクルに対応するコードや、アンプから出るコードに特に注意し、その上に物を置いたり立てかけたりして歩いたり挟んだりしないように配線してください。
- 12 クリーニング - アンプのクリーニングは、メーカーが推奨する方法でのみ行ってください。水で少し湿らせた布で拭いてください。アンプ内部に水が入らないようにしてください。
- 13 不使用期間 - 長期間使用しない場合は、アンプの電源コードをコンセントから抜いてください。
- 14 物体と液体の進入 - 物が落下したり、開口部から液体が筐体内にこぼれたりしないように注意すること。
- 15 サービスを必要とする損傷 -  
以下のような場合は、資格のあるサービス担当者にアンプの修理を依頼してください：
- A. 電源コードまたはプラグが損傷している。
  - B. 物が落下した、または液体がアンプにこぼれた。
  - C. アンプが雨にさらされた。
  - D. アンプが正常に動作しない、または性能に著しい変化が見られる。
  - E. アンプを落としたり、筐体が破損した。
  - F. アンプに真空管の交換またはバイアスが必要
- 16 修理 - 使用者は、取扱説明書に記載されている以上の修理をアンプに対して行わないでください。  
その他の整備はすべて、資格を有するサービス担当者に依頼してください。
- 17 換気 - キャビネットのスロットと開口部は、換気のために設けられ、製品の信頼性の高い動作と過熱からの保護を保証します。開口部を塞いだり、覆ったりしないでください。ベッド、ソファー、敷物などの上に製品を置いて開口部を塞いではありません。本製品は、本棚やラックなどの作り付けの場所に設置しないでください。
- 18 アタッチメント - 製品メーカーが推奨していないアタッチメントは危険ですので使用しないでください。
- 19 付属品 - 不安定なカート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルの上に本製品を置かないでください。製品が落下し、子供や大人が重傷を負ったり、製品に重大な損傷を与える恐れがあります。
- 20 雷 - 雷雨の前や、長期間使用せずに放置する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。これにより、雷や電源サーバーによる製品の損傷を防ぐことができます。
- 21 交換部品 - 交換部品が必要な場合、サービス技術者がメーカー指定の交換部品を使用しているか、元の部品と同じ特性を持っていることを確認してください。無許可の代用品は、火災、感電、その他の危険を招く恐れがあります。
- 22 全チェック - 本製品のサービスまたは修理が完了したら、サービス技術者に安全チェックを依頼し、製品が適切な動作状態にあることを確認してください。
- 23 ヒューズ - リアパネルに表示されている正しい定格とタイプのヒューズを必ず使用してください。適切な定格ヒューズは、本機を使用する国の AC ライン電圧によって決まります。

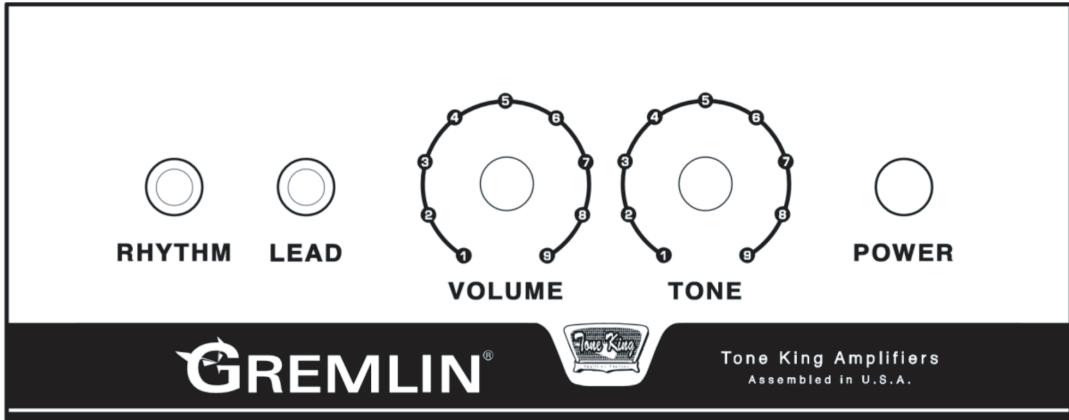
# 取扱説明書 目次

---

<b>1</b>	<b>トップパネル・コントロール</b>	<b>4</b>
	リズムとリード入力	4
	ボリュームとトーンコントロール	4
<b>2</b>	<b>サウンドのダイヤルイン</b>	<b>4</b>
	リズム・ポイシング	4
	リード・ポイシング	4
<b>3</b>	<b>バックパネル・コントロール</b>	<b>5</b>
	AC電源	5
	ヒューズ	5
	電源スイッチ	5
	スピーカージャック	5
	ラインアウト	5
	アッテネーター・コントロール	5
	アッテネーター使用上の注意	6
<b>7</b>	<b>チューブの取付と交換</b>	<b>6</b>
	チューブの選択タイプ	6
	12AX7/KT66 ※代替チューブの選択肢	6
	チューブの取り付け	6
	出力管の交換	6
	チューブ品質	7
<b>8</b>	<b>保証</b>	<b>7</b>
<b>9</b>	<b>CE宣言</b>	<b>8</b>

# 1 トップパネル コントロール

---



## Rhythm and Lead Inputs

### リズムとリード入力

入力端子は2つあり、それぞれ音色とゲインレベルが異なります。Rhythm入力はLead入力よりゲインレベルが低いです。ここではアンプの「チャンネル」となります。2つのインプットのどちらかにケーブルを接続します。また、A/BまたはA/B/Yスイッチを使用して、2つのチャンネルを選択することもできます。

### ボリューム＆トーン・コントロール

Gremlinのプリアンプは、ヴィンテージのツイード・デラックス・アンプによく似ています。そのため、ボリューム・コントロールとトーン・コントロールは非常にインタラクティブです。つまり、ボリューム・コントロールを変えるとトーン（トレブル、ミッドレンジ、ベースのバランス）に何らかの影響を与え、トーン・コントロールを変えるとアンプのボリュームに何らかの影響を与えます。これは不便な設定のように思えますが、利用可能な音色の幅は格段に広がります。インタラクティブなボリュームとトーン・コントロールの使い方に慣れていない場合、最適な使い方に慣れるまで少し試行錯誤が必要かもしれません。

# 2 サウンドのダイヤルイン

---

Gremlinは、2系統の入力で驚くほど幅広い音色が得られます。各チャンネルは特定の用途を想定しており、Gremlinを最大限に活用するには、各ボイシングの意図を知ることが重要です。

### リズム・ボイシング

リズム・ボイシングは、"ブラックフェイス"のフェンダー・サウンドを出すことを意図している。小音量ではよりクリーンだが、クランクさせるとブレイクアップが良く、オーバードライブをかけるとフル・サチュレーションになる。

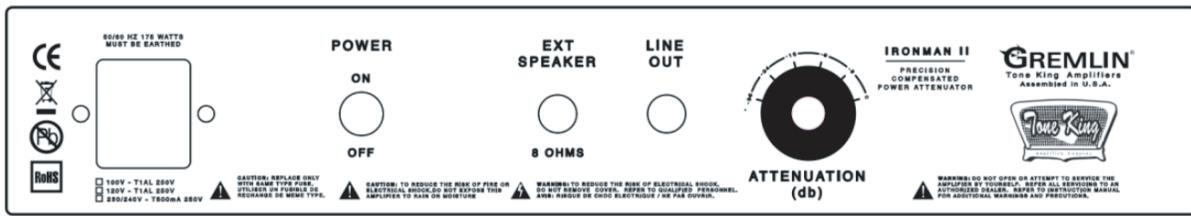
### リード・ボイシング

リード・ボイシングは、オーバードライブとディストーションのトーン専用です。クリーン・トーン向けではありません。そのため、他のセッティングよりもゲインが高く、ボリューム・コントロールが小さいとブレイクし始めます。特定のギターで最高のトーンを得られるスイート・スポットを見つけるには、多少の試行錯誤が必要かもしれません。

Gremlinは、オーバードライブとディストーションの多くの出力段から得ている。リード・セッティングでハードにブッシュすると、早い段階で最大出力に達し、ボリューム・コントロールを上げるにつれて単純に飽和していきます。これは、ツイード・アンプなど、マスター・アンプ以外のデザインではよくあることです。Gremlinは、ルーキーでオールドなサウンドのために設計されています。

この種のトーンは、パワー管をハードにドライブし、独自のディストーションとコンプレッションを発生させるものです。

### 3 バックパネル・コントロール



#### AC Power

#### AC電源

必ずアース付きのACコードを使用し、アンプに適切なアースが接続されていることを確認してください。アンプへのアース接続を持ち上げたり、壊したりしないでください。

#### ヒューズ

標準的な2A Slo-bloヒューズを使用すること。ヒューズホルダーはAC入力に内蔵されています。

#### 電源スイッチ

アンプの電源を入れる際は、演奏前に真空管を約1分間ウォームアップさせることをお勧めします。

#### スピーカージャック

スピーカー・ジャックはシャーシの背面にあり、「EXT SPEAKER」と記されています。これは、内蔵スピーカーに使用する場合も、外部スピーカー・キャビネットに電源を供給する場合も、このジャックを使用するためです。標準的な1/4インチのモノジャックです。アンプの出力インピーダンスは8オームです。Gremlinを拡張キャビネットと使用する場合は、8Ωのキャビネットを使用するのがベストです。標準的な1/4インチのモノラル・スピーカー・ケーブルで接続するには、内蔵スピーカーからプラグを抜き、ケーブルをスピーカー・ジャックに差し込みます。ただし、アンプをオフにした状態で行ってください。

#### ラインアウト

高品質な1/4 "ギター・ケーブルを接続し、追加機器などの外部機器に信号を送ります。パワー・アンプ、FXなど。これはスピーカーのエミュレートではありません。

#### アッテネーター・コントロール

GremlinにはIronman II精密アッテネーターが内蔵されています。このアッテネーターにより、出力管をフル出力で動作させながらアンプの音量レベルを下げる事ができます。自然なパワー管のオーバードライブとディストーションを得ることができます。このアッテネーターは、トランジ・カップリングと精密にチューニングされたリアクティブ・ロードを使用し、非常に小さな音量でもアンプの自然なトーンとフィーリングを維持します。これは、高い評価を得ているIronman IIスタンドアローン・アッテネーターと同じ一般的なアプローチです。

オーバードライブ・トーンやディストーション・トーンをロー・ボリュームで生成するには、様々なアプローチがあります。例えば、マスター・ボリューム回路や、London Power Scalingのようなパワー・リダクション・スキームは、どちらも他ブランドの様々なアンプ・モデルで成功裏に使用されています。しかし、Gremlinが実現するよう設計された、よりビンテージなサウンドのトーンには、内蔵のIronman IIのような良質なアッテネーターが、非常に小さな音量でもトーンとフィーリングを維持する最良の方法です。

アッテネーターは、スピーカーに送られるパワーの量を決定しますが、アンプの出力段自体の動作には影響しません。アッテネーターは、スピーカーに送られずに出力管で発生した余分なパワーを吸収し、消散させます。

アッテネーターはアンプ出力とスピーカー・ジャックの間に接続されています。(外部アッテネーターと同じように接続。)

ただし、内蔵Ironman アッテネーターを使用して他のアンプの出力を減衰させることはできません。

## アッテネーター使用上の注意

Odbのポジションでは、アッテネーターは完全にバイパスされ、スピーカーは出力トランスの2次側に直接接続され、信号経路に追加の回路はありません。

Ironman II アッテネーターは出力パワーを下げるのに優れた働きをします。

アンプの回路のトーンを変えることなく、音量を下げると、トーンに変化が生じます。以下に、注意すべき要因をいくつか挙げます。

スピーカーのブレイクアップとコンプレッションは、大音量で鳴らしたときのアンプのトーンとフィーリングに大きく影響します。低出力設定では、スピーカーの反応は異なり、高出力時のようなブレイクアップやコンプレッションは起こりません。

耳の自然な反応曲線は音量レベルによって変化するため、音量レベルによって音の感じ方が変わります。静かな音は、低音成分が少ない印象を与えがちです。

音量が小さいと、アンプを大音量でチューニングした場合よりも、ギターの弦を強く叩き、よりアグレッシブに演奏する傾向があります。

音量を下げるには、慣れるまで時間がかかるかもしれません。

## 4 チューブの取付と交換

### チューブ タイプの選択

現在、ToneKingが推奨するチューブタイプは以下の通りです：

機能	タイプ
V1	1stゲイン・ステージ (チャンネル1、2のいずれか)
V2	2ndステージ C.F.チャンネル1&2、ドライバーステージ
V3	出力管

### 12AX7/KT66 ※代替チューブの選択肢

#### ゲインを下げる

プリアンプのゲインが高すぎると感じ、十分なクリーン・ヘッドルームを得るためにボリューム・コントロールをかなり下げていることに気づいたら、V1ポジションに5751、12AT7、12AY7、あるいは12AU7をスワップしてみてください。

### チューブの取り付け

真空管を取り付ける際、アンプをテーブルの上に横向きに置き、アンプの背面に直接ライトを当てると、それぞれの真空管の位置を確認しやすくなります。真空管は正しい向きで取り付けなければなりません。小型のオールガラス管には、ピンのリングに空白があり、シャーシにある真空管ソケットの真空管ピンのリングの空白と一致させなければなりません。ベーカーライト・ベースの大型チューブは、チューブ・ピンのリングの中央に割り出しキーの付いた小さなシリンダーがある、このインデックス・キーは、シャーシのソケットの対応するスロットと一致していなければなりません。

## チューブの品質

現在製造されている真空管は、中国、ロシア、チェコ共和国で製造されており、真空管製造の "栄光の時代" に米国メーカーが製造した真空管と同じ品質基準で製造されているわけではない。私たちミュージシャンは、その音色のために真空管を選ぶが、最近手に入る真空管は不完全な装置である可能性があり、アンプ全体の中で最も信頼性の低い部品であることは間違いない。真空管の問題は一般的に、パチパチというノイズやマイクロフォニックスとして現れます。このノイズは、連続的、散発的、機械的な振動に反応して、あるいは、特にコンボ・アンプでは、演奏に反応して発生することがあります（例えば、音を叩いたときだけパチパチというノイズが発生するなど）。

当社では、すべての真空管を徹底的なバーンインとテストにかけることで、真空管が完全に仕様に適合し、完璧に動作することを確認しています。しかし、真空管の故障のほとんどは、その寿命の初期に発生し、アンプが輸送中に受ける揺れや衝撃のために発生する可能性があることにご注意ください。TONEKINGでは、徹底的なテストを行っていますが、初期の真空管の不具合は、そのようなテストでは必ずしも見つけることができません。最初の2ヶ月ほどは、どの真空管セットにとっても最も不安定な時期です。製造上の欠陥のほとんどは、最初の2ヶ月で明らかになりますが、多くは、バーンイン期間後でさえ、初期テストでは検出できません。

この期間中、アンプのノイズ、クラックリング、ハム音、その他の異常な動作に気づいたら、それは真空管の欠陥によるものである可能性が高いので、デバッグする必要があります。

## 8 保証

---

トーンキングをお選びいただきありがとうございます。トーンキングは、世界有数の最も信頼性の高いハンドワイヤリング・オールチューブ・アンプとスピーカー・キャビネットです。

当社は、出荷前に各製品に対して徹底的なテストを実施しています。万が一、アンプに問題が発生した場合は、別紙の保証書をご参照ください。

### アンプ

Tone Kingの保証を利用するには、購入証明書を保管してください。本保証は、事故、怠慢、乱用、通常および摩耗、災害、誤用、乱用、過度のパワーアップ、過失、不適切な梱包または発送手順、トーンキングが書面で承認または承認していないサービス、修理、製品への改造によって生じた損傷を修理するためのサービスや部品には適用されません。**アンプの改造は保証を無効にします。**本製品が上記の保証のとおり材料または製造上の欠陥がある場合、修理または交換となります。

---

**注意：ご自身でアンプの修理、改造、サービスを行わないでください！**  
**すべての安全に関する通知、警告、指示については、取扱説明書をお読みください**

他の真空管アンプと同様、Tone King にも非常に高い電圧がかかっています。アンプからシャーシを取り外さないでください。すべての修理およびサービス作業は、販売店を通して代理店の許可の元、行って下さい。許可なく修理を行った場合、保証は無効となります。

---

### チューブ

Tone Kingは、Tone Kingに使用されている特定のチューブが、購入日から90日間、材質および製造上の欠陥がないことを、最初の購入者に保証します。日付入りの販売レシートがあれば、この保証の適用範囲となります。この真空管保証は、最初の小売販売日から90日後に自動的に終了します。この真空管保証は、他のすべての明示的な保証に代わるもので、90日間の保証期間内に真空管が故障した場合、販売店へ連絡の元交換または修理を行って下さい

### 偶発的または結果的損害

Tone Kingは、いかなる場合においても、トーンキング製品の使用または使用不能から生じる偶発的または派生的損害について、たとえ Tone Kingのディーラーがそのような損害の可能性について知らされていたとしても、あるいは他のいかなる当事者によるその他の請求についても責任を負いません。

トーンキングを選んでいただき、ありがとうございます！



正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら

<https://quanta-intl.jp/support/>

## 9 CE宣言

---

Premier Builders Guild, LLC  
201 S. Highland Avenue, Suite 204  
Pittsburgh, PA 15206  
412-362-0309



### DECLARATION OF CONFORMITY Report #R070212

We, Premier Builders Guild, in coordination with CES Laboratories, declare, taking this declaration under our total responsibility, that the below models are in conformity with the provisions of the following EC Directive(s) when installed in accordance with the installation instructions contained in the product documentation:

2006/95/EEC Low Voltage Directive

2004/108/EEC EMC Directive

2011/65/EEC RoHS-Directive

---

And that the standards and/or technical specifications have been applied to the following families of products:

Manufacturer/Importer	Imperial	Metropolitan
Date: 8/25/2015	Galaxy	Falcon
	Sky King	Royalist
	Imperial MK II	Falcon Grande
	Ironman II Mini	Gremlin

Signature:

A handwritten signature in black ink that reads "Christopher W. Fleming".

Name and Title: Christopher W. Fleming  
V.P. PROJECT ENGINEERING

Approved By:

Chandra Garudachar

President

CES LABORATORIES

Prepared By:

Jyotsna Bedi

23361 Cypress Pt

Mission Viejo, CA 92692